



# 防災会だより

第 29 号

発行:平成 22 年 05 月 08 日  
発行責任者: 防災会次長  
橋本壽与

## 防災会長に就任して

平成 22 年度 防災会長 中川久男

この度平成 22 年度防災会長に就任いたしました中川です。近年世界のあちこちで大規模地震が発生しております。私もかなり古い話ですが昭和 39 年に新潟地震を体験しました。当時私は学生でしたが丁度 5 月の 1 時過ぎ午後の体育の授業を受けるためグラウンドに立っていましたが突如地面がぐらぐら揺れ始めとても立ってはいられなく思わず地面にふさぎこんでしまいました。暫くして空を見上げると巨大なキノコ雲が 5 月の真っ青な空に 5000メートル位までもくもくと立ち上がり一体何が起きたのか皆目見当がつかせませんでした。左右に大きく揺れる木造の校舎の 2 階から学生たちが一斉に飛び降りる姿が印象的でした。いつの間にかあちこちから人が集まりこれはソ連の原爆が落ちたのだとか否地震かもしれないと喧々諤々でした。暫くすると下のほうからこちらの高台を目指して人々が一斉に「津波が来るぞ」と叫んで駆け上がってきました。それでこれはソ連の原爆ではなく地震であるということが分かりました。夕方になってラジオの放送で巨大なキノコ雲は地震の揺れにより昭和石油新潟製油所の原油タンクの蓋が振動して静電気が発生しそれが原油に引火して爆発炎上したという事でした。その後学生という立場で救援隊に組み込まれあちこちの被災現場を歩きました。道路はズタズタに引き裂かれ波を打ちとても歩ける状態ではありませんでした。当時信濃川に架けられた最新鋭の鉄筋の昭和大桥は 3 つ 4 つにちぎれ川に落ちてました。又新聞にも乗っていて皆さんも記憶にあるかと思いますが当時建てられたばかりの鉄筋のモダンな県営アパートがピサの斜塔以上に傾いて倒れていました。これはその後の研究で分かった流砂現象によるものだったようです。私は避難生活こそしなかったもののその後一ヶ月余り余震に苛まれ又原油の火災により上空はイラク戦争時のクエートみたいに煙に覆われ薄日しか射さず 5 月だと言うのに肌寒い天気が続きました。津波は結果的には大したことはなくて幸いでしたが大地震が一旦起これば津波と火災が付いてくるという事を私は身をもって体験しました。先日の新聞に東海・東南海・南海地震が同時発生ならどの県に何人の死者が出るという予測数が出てましたが幸い神奈川県は 10 人と少ない数であったのは安心しました。しかし予想と言うのは相手が自然の場合余り当てにならないと思うべきです。というのも私が新潟で最新鋭の橋が崩れて川に落ち最新鋭の鉄筋コンクリートのビルがあっけなくひっくり返ってしまうという事実を目の当たりにしたからです。災害にたいしては備えあれば憂いなしです。私はこの経験を基にこの一年防災能力の向上と災害時の対応能力の向上に心血を注ぎたいと考えております。会員の皆様方の助言とご協力をお願いする次第です。

## 昨年度の成果と、今年度の課題

防災会次長 橋本壽与

昨年度は、様々な”防災への備え”が促進されました。  
自助(自分自身や家族でやれる)面では、家具転倒防止処置を施こしたり、住宅用火災警報器や消火器の設置が促進された家庭も多く見受けられました。  
共助(隣近所での助け合い)面では、松風台大災害時要援護者支援規程に基づいて、援護を求めておられる方々一人ひとりに大災害発生時の安否確認者(自治会班長、及び防災会避難班員)を定めて、その家庭を訪問して顔なじみになってもらい、万一の場合の援護方法の情報交換がなされ一歩前進しました。  
公助(行政に期待する)面では、昨年 8 月から全国瞬時警報システムが 運用開始され、茅ヶ崎市の防災無線では早速 8 月 11 日早朝に発生した駿河湾沿岸地震の警報が放送され大いに備えへの効果がありました。更に、家屋倒壊防止対策では昭和 56 年 5 月以前に建築された古い家屋への補助も開始されました。

しかしながら、今年 1 月に松風台住環境を考える会が「松風台の住み心地」について全戸にアンケートして下記の結果が得られました。

- ・防災体制がしっかりしているので安心：18.0%
  - ・高齢地域になるので、防災対策が心配：44.3%
- 多方面からの防災対策が必要ですが、自由記述意見からは、特に<防災知識の普及がまだまだ不足>していることを痛感しました。

一方、10 数年かけて防災倉庫に備蓄してきたものには、平和な日頃はなじみの少ない資機材も多くあり、いざと云うときに本当に有効に使いこなせるのか疑問の声もあります。

これらの・防災知識の普及・資機材の使いこなしは、何れも今年度の自治会事業計画に掲げられた災害時の緊急対応能力の向上には必須のことであり、松風台の住民が一体となり自助・共助に地道な努力を継続してゆきたいと考えます。

今年度も引き続きご協力をよろしくお願い致します。



1. 事業計画

- (1) 防災知識の更なる普及 - **行政情報**なども利用し研修会、防災会だより、ホームページなどを介して普及
- (2) 防災訓練の充実 - "松風台大災害発生時防災行動指針"に基づく訓練
- (3) 防災用資材、機材の維持管理 - 備蓄した**消耗用品などの再点検**
- (4) その他 - **その都度 発生する必要と認められることのタイムリーな処置**

アンダーライン部分が今年度の新たな取り組み

2. 年間スケジュール

年間スケジュール					実施結果
月/日(曜)	時刻	場所	参加者	実施項目	(平成22年5月8日現在)
4/25(日)	14:00~15:30	松風台自治会館	防災会員	総会	開催済/計画通り承認
5月中旬	-	-	次長発行	"防災会だよりNo.29"発行(事業計画)	発行済 5/08
5/15(土)	18:00~	松風台自治会館	自治会役員・班長	第1回防災研修会(自治会班長対象)	
~5月下旬	各隊で決定	各防災倉庫	各隊長以下隊員	各隊毎に顔合わせ、各班の役目の徹底	
6/05(土)	11:00~12:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
6/26(土)~27(日)		茅ヶ崎市役所	常任者から選抜	茅ヶ崎市防災リーダー養成研修会へ参加	
~7/16(金)	-	茅ヶ崎市防災対策課	次長立案	防災用資機材購入補助金手続き提出	
8/07(土)	13:00~16:00	香川公民館	救護班員など	普通救命講習会(茅ヶ崎消防本部主催)	
8/ (土)	終日	松風台南公園	防災会有志	自治会夏祭り(機材貸出、設営などの応援)	日未定
9/04(土)	11:00~12:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検/資機材の棚卸	
9/11(土)	13:00~15:30	松風台東公園	役員、消火班	第1回防災訓練(茅ヶ崎消防署の指導)	
	18:00~21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第2回防災研修会(消火訓練などの反省)	
9/25(土)	13:00~15:30	松風台南公園	自治会員	第2回防災訓練(避難など)雨天の場合は翌日	
10/24(日)	12:30~15:30	鶴が台中学校校庭	自治会員	湘北地区自治会連合会の防災訓練	
10/30(土)	19:00~21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第1回役員常任者会(上期反省、下期計画)	
11月上旬	-	-	次長発行	"防災会だよりNo.30"発行(年度中間報告)	
12/04(土)	11:00~12:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
1/09(日)	9:30~11:00	茅ヶ崎市役所	会長、他	茅ヶ崎市 出初式	
1/18(火)	14:00~15:30	茅ヶ崎市民文化会館	役員、市防災リーダー	茅ヶ崎市防災研修会(市防災対策課主催)	
1/30(日)	18:00~21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第3回防災研修会(防災知識普及)	
2/13(日)	13:30~15:30	松風台自治会館	自治会員	第3回防災訓練(内容は別途立案)	
3/05(土)	11:00~12:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
3/13(日)	19:00~21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第2回役員常任者会(今年度反省、次年度計画)	
3月中旬	-	-	次長発行	"防災会だよりNo.31"発行(事業実施報告)	

【防災会員へお願い】 防災会だよりに、今まで毎年掲載していた"防災会組織"は省略しました。  
 防災会組織、災害対策本部の組織、緊急連絡網は防災会の総会資料にて配布したものをご利用ください。